



第15回 アカデミックサロンのご案内

アカデミックサロンは、サロン形式で行う大学の研究者との技術交流の場です。

今回は、山梨大学工学部情報メカトロニクス工学科の小谷信司先生に話題を提供してもらいます。先生はロボット工学の専門家で、現在は障がい者の方々をサポートするロボット開発とモモ果実の検査システムに取り組んでいます。

日本には現在、視覚障がいのある人が30万人近くおり、そのうちの1万人は盲導犬などの補助があれば自立した生活を送ることができると言われていています。ところが盲導犬の数は千頭ほどで、育成にも時間がかかります。こうした問題を解決しようと、先生は視覚障がいのある人を目的地まで安全に誘導するロボットの研究開発をしています。さらに、会話をすることが困難な人が、「視線」だけで意思表示ができるシステムを開発しています。

山梨県の特産物であるモモ果実を食害するモモシンクイガ被害果検査システムの研究開発を行なっています。目視による外観検査では100%の検出が出来ない台湾向け輸出モモの検疫に対応するためです。

これらを支えるのが、画像処理・画像認識の技術を基盤としたロボット工学です。ロボット工学は、人が生きる喜びを感じ自信をもって生活することを支える上でも非常に大きく貢献しているのです。どんな技術なのか非常に興味が湧きますね。

是非参加していただき、研究者と直接言葉を交わして貰えればと思います。

- 【開催日時】 2017年 2月 17日 (金)
- 第1部 技術交流会 16:00~17:30
*17:30-17:45は机・椅子の移動
- 第2部 お弁当食事会 17:45~19:30



小谷 信司 先生

【第1部 技術交流会の内容】

話題：「生きる力と喜びをもたらす 生活支援ロボット、農業支援ロボット」

- ・盲導犬ロボット
- ・視線検出によるコミュニケーションシステム
- ・X線を利用したモモシンクイガ被害果検出システム

講師：工学部 情報メカトロニクス工学科 教授 小谷 信司 (こたにしんじ) 氏

【場所】 甲府駅北口「CAFE 風土」2F
<http://koshuyumekouji.com/walk/009.html>



【費用】 飲み物代 (第1部参加者) : 500円 (コーヒー他)
*但し、山梨大学新技術情報クラブ会員は無料
お弁当代 (第2部参加者) : 1,000円



【申込方法】

案内メール (下のアドレス) に返信してお申し込みください。

renkei-as@yamanashi.ac.jp

電話の問合せ [055\(220\)8754](tel:0552208754) 山梨大学 研究推進・社会連携機構 最上まで

主催：国立大学法人 山梨大学 研究推進・社会連携機構

共催：NPO法人 山梨情報通信研究所 後援：一般社団法人 山梨県情報通信業協会 (YSA)